

建学の精神とキリスト教 12

「新島襄・同志社・キリスト教の基礎」

同志社大学神学部 教授 小原克博

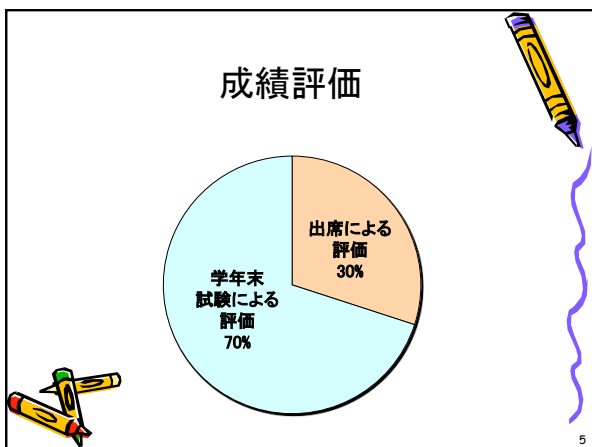
同志社科目とは？

- 同志社科目
 - 同志社大学は日本におけるキリスト教主義大学の代表であるばかりでなく、全国の数ある大学のなかでもっとも歴史のある大学のひとつです。1875年に新島襄が多数の協力者のサポートを受けて「同志社英学校」(男子校)を創立して以来、日本の近代史の中に大勢の有為な人材を送り出してきました。この科目では、同志社がどういう経緯で、どういう人たちにより、また何を目的として創立されたかを学びます。

同志社科目の構成

- 基礎科目
 - 建学の精神の基本を学ぶ入門科目
- 展開科目
 - 建学の精神を詳しく学ぶ発展的な科目
- 関連科目
 - 建学の精神に広く関連する科目で、キリスト教思想の根本や歴史などをより専門的に学ぶ科目を含む

週	内 容
1	導 入
2	建学の精神(1):新島襄の略歴(1)
3	建学の精神(2):新島襄の略歴(2)
4	建学の精神(3):同志社の開校
5	10/24:休 講(海外出張のため)
6	建学の精神(4):熊本バンド
7	建学の精神(5):アメリカン・ボード
8	建学の精神(6):新島襄の教育思想と建学の精神
9	建学の精神(7):新島襄の宗教思想と建学の精神
10	キリスト教の基礎(1):運命を切り開く力—脱出と解放の系譜
11	キリスト教の基礎(2):愛とは何か
12	キリスト教の基礎(3):キリスト教の歴史的发展
13	12/26:休 講(自主学習)
14	キリスト教の基礎(4):キリスト教と平和・戦争
15	キリスト教の基礎(5):21世紀における宗教の役割



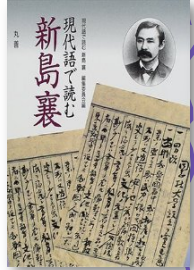
参考文献(テキスト)

- 本井康博 『新島襄と建学精神——「同志社科目」テキスト』、2005年(定価500円)。
 - 生協書籍部で販売中。



参考文献

- ・『現代語で読む新島襄』丸善、2000年。
 - 重要な資料や記録76点と、その解題。
 - そのほか、新島襄に関する参考文献については、テキストの第三部「研究・読書の手引き」を参照。



7

参考文献(マンガ)

- ・能田 茂 (著), 本井 康博 (監修)『マンガで読む新島襄—自由への旅立ち』同志社大学、2008年。



8

参考ウェブサイト

- ・新島遺品庫
 - <http://joseph.doshisha.ac.jp/ihinko/index.html>
- ・Neesima Room
 - <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/archives/neesimaroom.php>



9

【重要】授業用ページ

- ・小原克博 On-line www.kohara.ac
 - Education → 講義概要・シラバス
 - 建学の精神とキリスト教-12
- ・学期中はブックマークして毎週チェック

10

なぜ「建学の精神」を学ぶのか

- ・建学の精神: 同志社のアイデンティティ
 - 新島襄とキリスト教
- ・「わたし」のアイデンティティの形成
 - すぐれたアイデンティティとの相互作用によって、より豊かなものになっていく。

11

新島 襄の言葉

(『片鱗集』より)

我が校の門をくぐりたるものは、政治家になるもよし、宗教家になるもよし、教育家になるもよし、文学者になるもよし。少々角あるも可。気骨あるも可。

ただかの優柔不断にして安逸をむさぼり、いやしくも姑息の計をなすがごとき軟骨漢には決してならぬこと。

これ予の切に望み、ひとえに願うところなり。

12